

(◎は各県の朝日新聞総局後援)

催し

◆3.11を教訓に！ えひめのまちづくりワークショップin松山 13日10～15時、松山市文京町の愛媛大学法文学部本館2階中会議室。県防災局の担当者が南海トラフ巨大地震の新想定について基調講演し、個人でできる対策などについてグループで話し合う。無料。NPO法人えひめ311(089・947・2750)で申し込みを受け付けるが、当日参加も可。定員30人。

◆砥部焼こどもの日まつり 13日～5月12日、砥部町大南の砥部焼伝統産業会館1階ロビー(089・962・6600)。砥部焼の14窯元が子どもの健やかな成長を願って作った作品を出品。子ども用のお茶わんや湯飲みなどの日用食器、こいのぼりやかぶとの置物など約200点を展示即売する。無料。月曜休館。

◆第184回えひめ青空市場 14日9時半～15時、松山市大可賀のアイテムえひめ屋内大展示場。約100店舗が集まるフリーマーケット。無料。青空市場事務局(089・951・1211)。

◆恋人の聖地でオレンジデー 14日10～17時、伊予市双海町高岸のふたみシーサイド公園。愛を確かめ合う日とされるオレンジデー(4月14日)に、恋人の聖地とされる同公園を「マルシェ」に変身させる。地元産のハモを使った特製パスタの販売や野菜直売などがある。先着100人にはデコポン、オレンジ色のものを

身につけて来場した人にはオレンジのバラをプレゼント。雨天決行。シーサイドふたみ(089・986・0522)。

◆巡回展「科学捜査展」 20日～6月23日、新居浜市大生院の県総合科学博物館(0897・40・4100)。指紋鑑定やDNA鑑定など科学捜査の技術を映像や展示パネル、体験装置で紹介。事件現場セットの中で携帯情報端末を使って証拠や証言を集め、犯人を推理して事件の解決までをゲーム感覚で体験できるコーナー(参加費300円)も。巡回展のみの観覧料は高校生以上300円、65歳以上と小中学生は200円。